

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	全自動尿中有形成分分析装置UF-5000によるヘモジデリン尿に関する検討
研究責任者	検査部 國貞 もなみ
研究機関名	日本赤十字社医療センター 検査部
研究目的と意義	血管内溶血を引き起こす発作性夜間ヘモグロビン尿症(以下、PNH)の検査所見の1つで尿中にヘモジデリンが認められます。その検出は、尿沈渣検査(以下、目視法)で行われるのが一般的です。しかし、その尿中のヘモジデリンがごく少量の場合、目視法が実施されず、ヘモジデリンを見逃すこともあります。日々発達している医療機器を上手に活用することで病気の早期発見、治療にもつながることが期待できると考えました。
研究方法	<p>1.研究対象者            当院通院中の未治療PNH患者            (対象期間2022年6月17日 ~ 2023年4月30日)</p> <p>2.研究方法            随時尿検体を用いて、無染色、ステルイハイマー染色、ベルリン青染色による目視法とUF-5000による尿沈渣解析を比較検討します。</p> <p>3.個人情報の管理            情報は匿名化しており、個人を特定できないようになっております。また、データ収集の際には患者さんの個人情報は院内で厳重に管理いたします。この研究の成果は学会で発表する予定ですが、研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>この研究に参加を希望されない方はご連絡ください。参加を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 検査部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：國貞 もなみ、壹岐 聖子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604